

数理・情報教育研究センター

Mathematics and Informatics Center

ソフトウェアを活用した 新しい数理科学教育シンポジウム

～東京大学のMATLAB教育活用事例を中心として～

開催日 2022年2月22日(火)

開催時間 12:30- 15:30

対象: 東京大学教職員 および 学生

主催: 数理・情報教育研究センター

共催: 情報システム本部

教養教育高度化機構 初年次教育部門

東京大学MATLABユーザグループ

東大MATLAB アンバサダー

MathWorks Japan

オンライン
開催

お申込はこちら

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/82710096048>

<プログラム>

12:30 開会挨拶 大学院数理科学研究科特任教授 藤原毅夫
MATLAB 利用状況報告 東大MATLABアンバサダー

第一部 教育・研究活用事例紹介

12:50- 文科系向け数学教育: 演習を主体とし手を動かして学ぶ数学の実践
13:50 大学院理学系研究科 物理学専攻 教授 藤堂眞治

大規模講義での活用: 数理関連講義における MATLAB Grader (自動採点システム) の実践報告
大学院工学系研究科 システム創成学専攻/数理・情報教育研究センター 准教授 島田尚

電気電子情報実験・演習: 学生実験のリモート・ハイブリッド実施の紹介
大学院工学系研究科 電気系工学専攻 助教 大西巨

教養学部における活用: 初年次ゼミナールへの導入と神経認知科学への展開
教養学部・大学院総合文化研究科附属 教養教育高度化機構初年次教育部門 特任准教授 坂口菊恵

- 休憩 -

14:00- 研究利用: 農学分野での画像解析や機械学習の応用に関する事例紹介
14:30 農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻博士3年 板倉健太

今後の利用に向けて: スパコンにおけるMATLAB利用
情報システム部情報基盤課スーパーコンピューティングチーム 佐藤孝明

第二部 特別講演: 産業界におけるMATLAB利用

14:30 - 15:30 大学で学んだことは企業で役に立つか? 元トヨタ自動車理事 大島明
大学で学んだことを企業で役に立てるには、異分野コミュニケーション、企業が遭遇するNP困難への挑戦、逆問題への取り組み、開発プロセスの全体像の理解などの壁を乗り越える必要がある。ここでは講演者の経験から、その対処方法の例と大学教育への期待を説明する。

お問い合わせ先: MathWorks Japan (教育機関担当) cse-jp@groups.mathworks.com